



岩手医科大学附属病院高度看護研修センター 緩和ケア認定看護師教育課程

～受講を考えているみなさんへ修了生からのメッセージ～

【まずは受講相談会への参加をおすすめします】

認定看護師教育課程は1年間かけて受講するため、生活環境がとても重要になります。矢巾町はとても住みやすく、安心して学習に向き合える環境が整っていると感じました。著名な講師の先生方に教えていただけるだけでなく、専任教員の先生方もとても熱心に指導してくださいました。特に指導案やケースレポート作成の時はマンツーマンで連日指導を受けることができ、指導体制が手厚いと感じました。他の教育課程と比較することはできませんが、人の温かみに触れながら学ぶことができた1年間でした。受講を悩んでいる方がいたら、まずは説明会に参加して雰囲気だけでも感じてみることをおすすめします！



【講師・学習環境が充実しています】

私は岩手医科大学附属病院高度看護研修センターの緩和ケア教育課程を修了した14期生です。こちらの教育課程をお勧めする理由の一つに、ご高明な先生方の講義が受けられるということがあります。私は、直接講義を受けて知識だけではなく、これまでの看護を振り返り自分自身を見つめ直す機会となりました。

また、専任の先生方は、講義、実習、ケースレポートなど研修生と一心同体となり支援してくださいました。学習環境も、隣接している大学には図書館があるため静かな環境で、平日は22時まで使用できます。資料を探す時にも大変便利でした。院内にも学習できる環境があり、講義修了後も院内で学習して帰宅する習慣ができました。図書館と違い試験勉強や指導案を作成する時には 研修生同士で話をすることもできたので、私にとっては自宅で一人学習するより合っていると感じました。全国各地から集まった年代も経験も違う研修生と講義で意見交換ができ、時には息抜きで岩手を巡ったりと貴重な経験となりました。

緩和ケア認定看護師教育課程の受講をお考えの皆様へ、ぜひ岩手での研修をお勧めします。



【自分にできるか不安でしたが、成長することができました】

手術、化学療法でぎりぎりまで治療した患者さんが、「こんなはずじゃなかった」という場面を見て、もっと自分に知識があり患者さんへの情報提供や関わり方に自信を持ちたいと思い、受験を決めました。自分に出来るかなと不安を抱えながらの受験でしたが、実際受講してみると1つ1つクリアしていくことが出来ました。

職場を離れ、外に出ることで見えること、感じられることがここにはあると思います。一步踏み出すことで、自分と向き合う、本気で患者さんと向き合う時間になると思います。迷っている方がいたら、一步踏み出すことをおすすめします。先生方はもちろん、同期の研修生と支え、支えられながら、成長していける場所です。



【特定行為教育課程の研修生からも良い刺激を受けました】

同じ認定を志す仲間との学びは楽しくて、良い刺激を受けられます。講義ではグループや全体で発言することが当たり前になり、自分の考えを言葉にするのが苦手な方でも1年後には自分で成長を感じられると思います。

共通科目では、特定行為研修の研修生とも一緒に学び、様々な視点で考えることが出来ました。研修センターの先生方は、研修生のことを見守り、支え続けてくれる心強い存在です。研修生自身で気付くことができるように声掛けをしてくれます。

適確なアドバイスで、はっと気付かされることが何度あったかわかりません。研修生に安心と自信を与えてくれて、大変な時も前に進むことが出来ました。同期の研修生と先生に出会い、過ごした時間は本当に自分の宝物になりました。

研修センターの傍にはスーパーやドラッグストア、コンビニと、車がなくても生活には困りません。食べ物もおいしいです。お寿司、焼き肉、冷麺、ラーメン、カフェもお気に入りの場所ができました。毎日見える岩手山と、虹も数回目にすることができ景色にも癒されます。

大人の学びは大変ですが、得るものが大きいです。ぜひ岩手でステキな仲間たちと楽しく、貴重な時間を過ごしてください。



【受講して自分の看護が確実に広がりました】

緩和ケア認定看護師教育課程での学びは、これまでの看護や自己の価値観を振り返り見つめ直す貴重な時間でした。レポート・実習・試験勉強は大変でしたが、教員や研修生の仲間の支えがあったからこそ乗り越えられたと感じています。

著名な先生方の講義はどれも学びが多く、自分の看護が確実に広がりました。半年間の岩手での生活は不安もありましたが、生活環境は整っており、虹や白鳥など岩手ならではの自然に癒され、心が豊かになる経験でもありました。挑戦には勇気も必要です。しかしその先には、大きな成長と特別な仲間との出会いがあります。積み重ねた時間は、看護にあたたかな彩りを添えることを願っています。



【在宅の現場に緩和ケアを届けましょう】

私は、訪問看護ステーションに所属しており、これまで病棟経験すらなかったため、「本当にやっていけるのか」と、何もかもが不安でした。

でも、勇気を出して一歩踏み出してみても、本当によかったと思っています。様々な現場から集まった緩和ケア認定看護師を目指す優しく信念を持った皆さんと出会いました。

そして、素晴らしい講師の先生方、何より心から尊敬できる先生方のもとで学べたこと。

そのすべてが、私にとってかけがえのない時間でした。

岩手医科大学附属病院高度看護研修センターは、「経験があるかどうか」よりも、「どんな看護を届けたいか」を大切にしてくれる、本当にあたたかい場だと思います。研修期間中は、自身の看護観が揺さぶられ、力不足を実感して、苦しい時期もありました。しかし、そこで悩んで考え続けたことが、いまの目の前の利用者さんや家族への支援に活かされていると思います。

ここは、緩和ケアに関心のある皆さんに、心からオススメできる学びの場です。

不安が山ほどあっても、気合いと周りからの助けで何とかできます。

特に在宅の現場は、まだまだ緩和ケアの力が行き届いていません。仲間が増えると嬉しいなどと思っています。これから挑戦される方々を応援しています！ぜひ岩手の地で、緩和ケアを深めていただければと思います。

